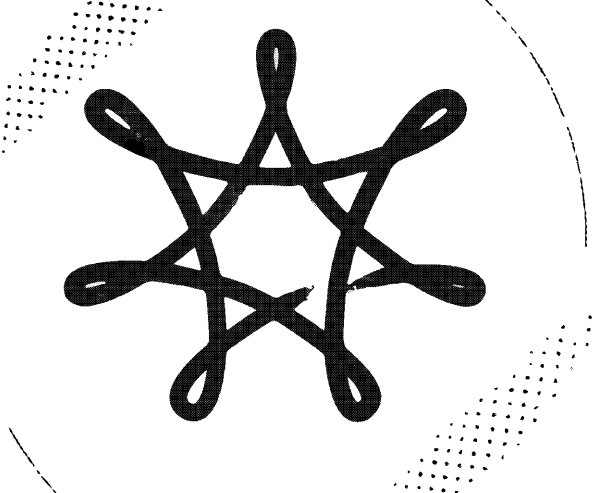




宇宙と繋がる。産業が広がる。



地上の技術を宇宙へ
宇宙の成果を地域へ
人と技術が交わり
新たな産業が生まれる。
ふくい宙クロスイノベーション推進拠点
始動。

国立大学法人福井大学 宙テクノロジー研究センター >>>

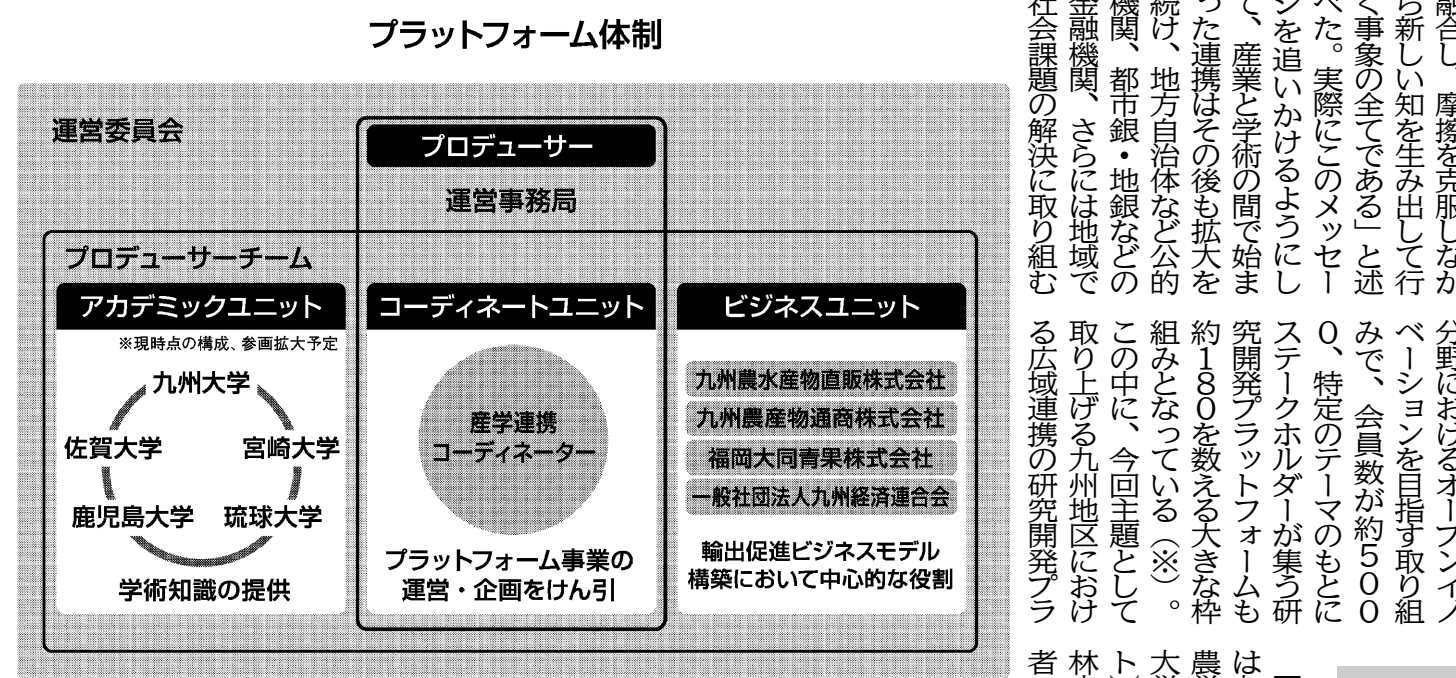
工学をめざす あなたの未来に天井はない。

100th
芝浦工業大学
SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5
研究推進部
E-mail sangaku@ow.shibaura-it.ac.jp

知の創造と進化で未来を開く 大学

研究支援者がつないだ地域連携のプラットフォーム

非営利活動法人産学連携学会 理事/琉球大学 研究共創機構研究推進室 殿岡 裕樹



プラットフォーム体制
運営委員会
プロデューサー 運営事務局
プロデューサーチーム
アカデミックユニット
九州大学 佐賀大学 宮崎大学 鹿児島大学 琉球大学
学術知識の提供
コーディネーターユニット
産学連携 コーディネーター
プラットフォーム事業の運営・企画をけん引
ビジネスユニット
九州農水産物直販株式会社
九州農産物通商株式会社
福岡大同青果株式会社
一般社団法人九州経済連合会
輸出促進ビジネスモデル構築において中心的な役割

農業分野における 産学連携10年間の歩み

異種異質な主体 新たな知を創出
産学連携学会の発行する学術誌「産学連携」の第1号が2004年11月に発行された。これまでに22巻の刊行を重ねてきた。創刊号の発行に寄せ、湯本長伯会長(初代)はメッセージの中で「産学連携とは、産学官公民金といった異種異質な主体が連携共同融合し、摩擦を克服しながら新しい知を生み出し、行く事象の全てである」と述べた。実際にこのメッセージを追いかけると、産業と学術の間で始まった連携はその後拡大を続け、地方自治体などの機関、都市銀・地銀などの金融機関、さらには地域で社会課題の解決に取り組む

ビジネスユニット 社会実装担う

図に示す通り、PF九州は九州・沖縄地区に立地し、農学部を有する5つの国立大学(アカデミックユニット)、九州地区における農林水産物の流通に携わる業者(ビジネスユニット)、そして前述の大学に所属する産学連携コーディネーターやリサーチ・アドミニストレーターなどの研究支援人材(コーディネーターユニット)は現在も健在である。国レベルの農政、県レベルの農政、個々の経営主体である農業者、変わりやすい需要と供給のはざまを物流を担う流通業者、そして学術研究機関と、多層からなるセクター間で重ねた10年間の対話は、次の10年間のどこかでまた新しい動きにつながることを期待している。

研究成果を通じてイノベーションを創出する大学

水素エンジンを搭載した日本初の自動車「武蔵1号」が環状八号線を走行した1974年の挑戦。現在も水素研究を推進しています。2025年には「水素社会研究会」を発足し、水素を軸とした脱炭素社会の実現に向け、産官学民の協働に取り組んでいます。

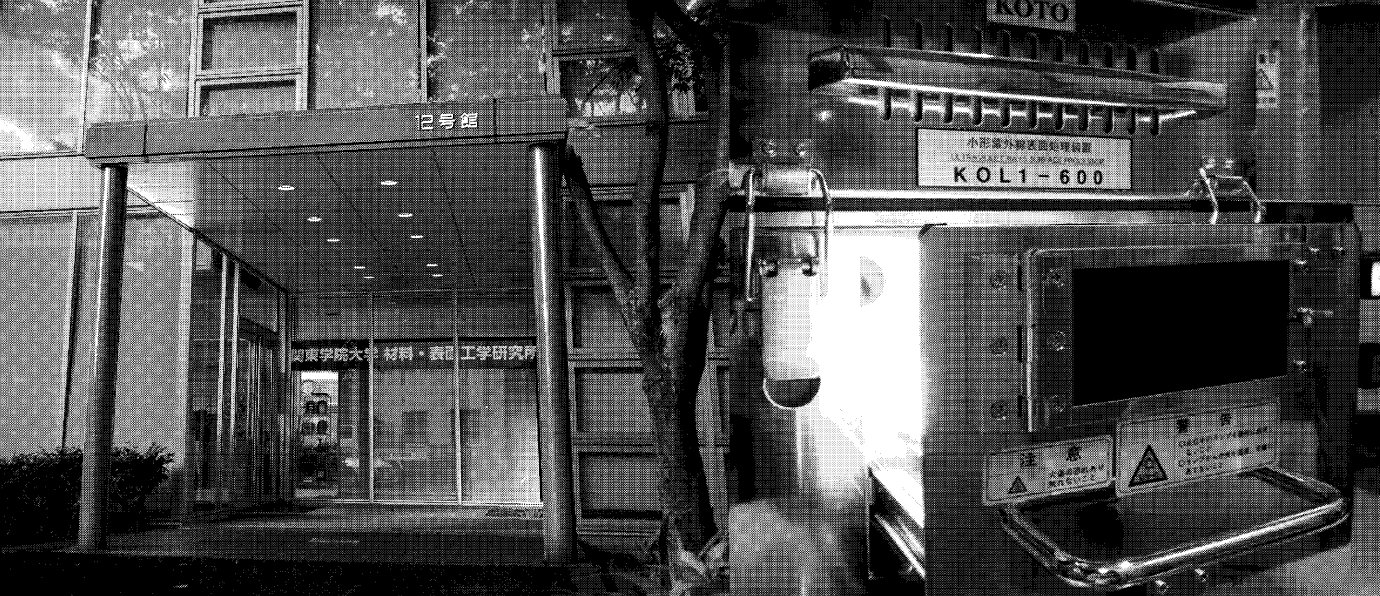


水素エンジンを搭載した日本初の自動車「武蔵1号」
東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY
東京都世田谷区玉堤1-28-1
研究・社会連携推進部研究推進課
Mail: sangaku@tcu.ac.jp https://www.tcu.ac.jp/csac/

国内外の大学や企業との連携を推進

関東学院大学

2023年4月に「表面工学コース」を理工学部内に開設
社会人対象の文部科学省認定「職業実践力育成プログラム」
【材料・表面技術マイスタープログラム】募集中 詳しくは 関東学院大学 bp



材料・表面工学研究所
横浜・金沢八景キャンパス
〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1 (横浜・金沢八景キャンパス)
TEL 045-786-7002
https://mscenter.kanto-gakuin.ac.jp/

東京電機大学

「実学尊重」「技術は人なり」

<公開講演・講座のご案内>

東京電機大学経営同友会 第63回 特別講演会

特別講演 食料安全保障の確立を目指して

中森農産株式会社 代表取締役 中森 剛志

日時：2026年6月11日(木) 18:00~19:00 (17:20受付開始)

場所：東京千住キャンパス1号館 2階 丹羽ホール



東京電機大学 医療機器国際展開技術者育成講座

来たれ若き未来の中核医療機器技術者

○開講期間 令和8年5月15日(金)~7月17日(金) 毎週金曜日・全10回

○時間 1時限目18:00~19:15、2時限目19:30~20:45 ※都合により変更になる場合があります

○開催形式 ハイブリッド形式



足立区 産学公連携促進事業 技術勉強会 (本学教員が講師)

「AIを活用した、自動バグ修正によるプログラム開発」

【1日目】6月19日(金) 15:30~17:00 「基礎編：プログラミングにおけるバグ修正」

【2日目】6月26日(金) 15:30~17:00 「応用編：自動プログラミングを目指したバグ修正」



技術相談・イベント等お問合せ ■研究推進社会連携センター 産官学連携担当■

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番
E-mail: crc@jim.dendai.ac.jp

TEL: 03-5284-5225
https://www.dendai.ac.jp/crc/tlo/



東洋大学

いのち

総合研究機構

「東洋大学いのち総合研究機構」

創立者井上円了の思想・哲学に通底した、あらゆる「いのち」の調和を目指す研究を推進します。詳しくは、こちらのWebサイトへ(コンセプト動画配信中)→



東洋大学

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20
https://www.toyo.ac.jp/

産学連携学会 第24回大会 金沢/6月

産学連携学会(寺野総会長=北陸先端科学技術大学院大学学長)は6月18日にANAクラウンプラザホテル金沢(金沢市)、19日に金沢商工会議所会館(同)で「産学連携学会 第24回大会 金沢大会」を開催する。

伝統と創造が息づく金沢の地で、理論と実践を結びつけながら新たな知を育むことを目指しつつ、持続可能な社会実現に向けた共創の場として、能登復興を応援する思いも共有していきたいと考える。

18日14時30分から開催予定である基調講演のテーマは「能登震災からの復興 ~産学連携やスタートアップの価値~」。前石川県副知事で政策研究大学院大学特任教授、金沢工業大学客員教授を務める西垣淳子氏が登壇する。

同日15時30分からは「スタートアップ・エコシステム共創プログラムにおける地域のスタートアップ創出」をテーマに掲げたシンポジウムを開催。本シンポジウムでは北海道(HSFC)、東北(MASP)、甲信・北関東(IJIE)、北陸(TeSH)、中・四国(PSI)、九州(PARKS)の6地域の拠点都市プラットフォーム(PF)が一堂に会し、地域課題、社会課題解決に向けた取り組みの成功例や課題を共有するとともに、国際展開に向けた取り組みについて意見交換や議論を行う。

19日10時からは一般講演を開催。「人材教育」「スタートアップ(大学発ベンチャー)」「組織間連携(オープンイノベーション)」「産学官連携政策」など、13のテーマで事前募集したものを口頭発表する。

このほか19日は医療分野の実用化を語るセミナーやオーガナイズドセッションも予定している。参加費は6月9日までの事前申し込みの場合、個人・団体の正会員・準会員が8000円、学生の正会員が5000円、一般が1万2000円。参加申し込み、問い合わせは同学会金沢大会実行委員会(sangaku2026kanazawa@ml.jaist.ac.jp)へ。

関東学院大学

関東学院大学材料・表面工学研究所は、教養の深化や専門性向上を目的に、文部科学省認定「職業実践力育成プログラム」のリカレント教育を実施し、10年目を迎える。表面工学分野は若い技術者の育成が喫緊の課題であり、2023年、理工学部にて「表面工学コース」を開設し、給付型の独自の奨学金制度とともに徐々に認知度は高まっている。

文科省公表の産学連携実施状況において、「特許権実施等件数」で全国8位・私大1位、約50社の契約企業からの技術供与費は研究費や奨学金に還元。学生は卒研、修論、博士論文の研究を行い、契約企業対象の報告会などを通じ実力を養い、国内外の学会や論文発表で社会還元へ貢献する。

芝浦工業大学

芝浦工業大学は2027年に創立100周年を迎える。これに向け、研究力の強化と社会実装の推進を軸に、産学官連携の高度化に取り組んでいる。

共同研究講座制度では企業と大学が組織対組織で課題を共有し、長期的視点で研究開発を推進。複数企業とのコンソーシアム型研究や自治体との連携も進め、技術シーズと社会ニーズの接続を強化している。さらに26年度より同大学研究組織「SIT総合研究所」の共通機器の外部利用を本格化。利用を通じた技術検証や試作開発を可能とし、共同研究への発展を後押しする。産学官連携を基盤に、知と地の創造拠点として新たな価値創出に挑み、次の100年に向けた発展を目指す。

福井大学

福井大学は「福井県民衛星プロジェクト」への参画など、地域産学官にも約10年にわたり人工衛星の開発・打ち上げ・軌道投入に取り組んできた。その実績を基盤に「宙(そら)テクノロジー研究センター」を新たに整備し、宇宙医学や閉鎖系における資源循環技術など分野横断型の研究を推進する。企業との共同研究や宇宙人材の育成を通じて産業創出を加速するとともに、産学官金の連携のもと「ふくい宙クローズドイノベーション拠点」の構築を目指す。

これまでの10年を礎に、今後の10年で人と企業が集まる宇宙分野を起点とした産業が成長する、移く地域の実現に挑戦する。

東京電機大学

東京電機大学は建学の精神「実学尊重」、教育・研究の理念「技術は人なり」を掲げ、200以上の研究室を擁する理工系総合大学である。産学官連携を担う研究推進社会連携センターでは、産学官金連携を通じて、企業との技術連携を促進している。同センターには経験豊かなコーディネーターがおり、気軽に技術相談もできる。

2026年度は、整備した大学発スタートアップ創出支援体制でも研究成果の社会実装を推進する。また50周年を迎えるME(生体医工学)講座 足立区と連携した技術勉強会、OB・OGで組織されている経営同友会特別講演会など広く公開講座も展開している。

東洋大学

東洋大学は2024年に「東洋大学いのち総合研究機構」を発足した。同機構は創立者・井上円了の思想や哲学に流れる無機物、有機物すべてが相互に依存し合う「いのち」の調和の世界観を踏まえて、現代社会のさまざまな問題にアプローチし、地域社会や地球というフィールドにおいて社会的実践(実践の知)を展開している。

同機構では19年に同校が開始した「東洋大学重点研究推進プログラム」から採択した、学部横断・文理融合による研究プロジェクトを通して、最先端の科学技術・情報技術の視点を含みながら、社会問題と突き合わせ「新たな価値」を創造し、個人と社会を相互に豊かにしていく取り組みを推進する。

東京都市大学

東京都市大学では、「持続可能な社会発展をもたらすための人材育成と学術研究」を理念に掲げ、8学部18学科・3研究科10専攻で先進的な教育研究活動を展開している。2025年度に竣工した横浜キャンパス新棟「7号館」では、AIロボットと建築・設備・情報インフラが連動する実証フィールドを構築した。さらに27年4月から、工学(デザイン)の分野横断による統合的な思考力を持つ「イノベーション人材を養成する「創発デザイン工学環」の新設を構想している。

東京都市大学は、社会に対して特色ある教育研究成果を発信し、価値を創造し続ける大学として、国内外から人々をひきつけ続けていく。

第15回 Prototyping Fair 試作市場

試作に焦点を絞った専門展

2年ぶりの開催! 入場登録受付中!

Micro Manufacturing Technology Fair 微細・精密加工技術展

お困りの「試作案件」「図面」を「持参したことで」

2026年 5月28日(木) 10:00~17:00

2026年 5月29日(金) 10:00~16:00

大田区産業プラザPiO 東京都大田区南蒲田1-20-20

入場登録はこちらから▼公式Webサイト

試作市場

試作加工分野 切削、プレス、板金など

AM関連分野 3Dプリンタ、3D関連技術など

関連機器分野 測定・評価機器、治工具類など

微細・精密加工技術展

微細加工技術分野 精密加工技術分野

加工機械・関連機器分野 工具・工作機器など

特別講演

特別講演1 チャンネル登録10万人突破! 製造業におけるYouTubeマーケティング成功のカギ

5/28(木) 13:00~14:00

ミスミ メビプレス編集部 セクションリーダー 石塚 直哉(づかちゃん)氏、メンバー 佐井 暢穂(サイちゃん)氏

特別講演2 技術力だけでなく発信力もすごい! 微細・精密加工に強みを持つ試作メーカー 松浦製作所にタクミセンパイが迫る!

5/29(金) 13:00~14:00

松浦製作所 技術 色川 泰広氏 × タクミセンパイ 服部氏

ものづくりの心を製品に活かす matsuura Quality Products